

長寿山石

長寿山地蔵尊



秦皇島市五佛森林公園 長寿山

長寿山は、苫小牧市と友好都市である中国秦皇島市山海関の五佛森林公園内にあります。

当地は、奇岩丘・洞窟で形成され、有史以前より人々はその威容に畏敬に念を抱き、薬草の宝庫と相まって長寿や安泰等の象徴として崇め、秦の始皇帝が不老不死を求め訪れた故事はあまりにも有名です。

また、秦皇島市は、日本でも「徐福伝説」で有名な徐福が、始皇帝の命を受け、不老不死の霊薬を求めた東渡の出航地との一説もあるところ。

石は平成23年3月に市民有志が中心となった「長寿山石碑設置委員会」に寄贈されました。

このような謂れのある石を、地蔵と石碑の奥に現地風習そのままに設置しています。

中国秦皇島市から長寿山の石を寄贈されたことに因み、その名の通り、人々の長寿、延いては幸福を願い長寿山地蔵尊を建立しています。



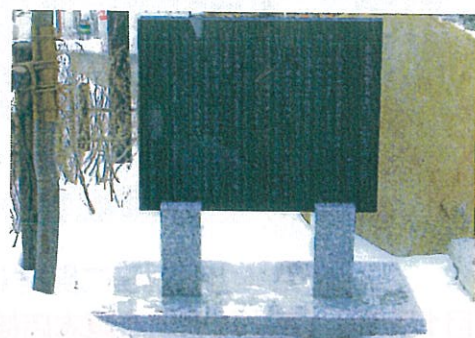
(注) お地蔵さんの左下に、**生老病死(しょうろうびょうし)**という言葉を刻んでいます。これは、四苦「生きる」「老いる」「病む」「死ぬ」四つの苦しみを意味します。

背中には次の四つの苦しみの言葉を刻んでいます。
愛別離苦(あいべつりく)～愛する人と別れる苦しみ
怨憎会苦(おんぞうえく)～怨み憎む人に会う苦しみ
求不得苦(ぐふとくく)～求めても得られない苦しみ
五陰盛苦(ごおんじょうく)～生活のすべてが苦しみ
 生老病死の四苦にこの四つの苦しみを合せた苦を八苦といい、「四苦八苦」の語源になっています。

除夜の鐘は、人間の持つ百八つの煩惱と、その一年を四苦八苦で過ごした人の四苦八苦を除夜の鐘で流し去り、煩惱の火が吹き消されて悟りの境地でよい新年を迎えるという意味です。



裏面もご覧ください



まちなか交流館

石碑

苫小牧市と中国秦皇島市の関係や長寿山の石の謂れ、石を寄贈されるに至るまでの経緯、この地に建立した思いを記しています。

ぶらっと港市場にも、秦皇島市から寄贈された石の「長寿山地蔵尊」を建立していることも記しています。

ようこそ！まちなか交流館へ



入館無料

まちなか交流館は「気軽」に「ぶらっと」立ち寄れる場所づくりを目的として、地域住民の交流拠点とするとともに、地域の観光や地場産品のPR拠点とし、多くの人が集い、触れ合う「コミュニティステーション」を目指すものです

まちなか交流館外観

100%天然温泉を使用した足湯と手湯

天然温泉を使用
アルテンの「ゆのみの湯」から、毎週お湯を運び入れています

ブラックシリカ
座面の素材はブラックシリカを使用
内部に埋設された電気ヒーターにより遠赤外線が発生し座面を暖めます



手湯

カラマツ素材
壁は耐震・耐風性のある面格子壁でカラマツ材を使用しており館内に入ると天然木材の香りが漂います

床暖房を設置
床には水に強い石英石を使用し座面と同じく電気ヒーターを埋設

観光案内コーナー



観光案内所には苫小牧市をはじめ近隣市町の名産品の展示や観光案内パンフレットを配置しております



ようこそ！まちなか交流館へ

開館時間 : から : まで (土日祝日も開館しております)

所在地 苫小牧市表町3丁目1番6号 (苫小牧信用金庫本店横)

裏面もご覧ください